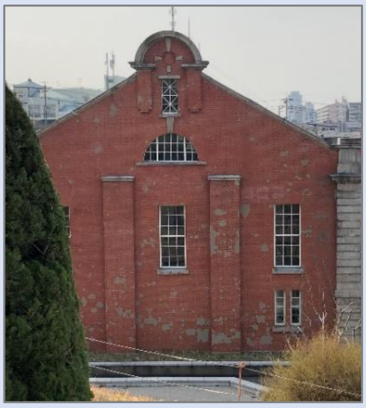
学芸員とめぐる戦争のつめ痕 ～覚王山界隈編～を開催しました！

５回目を迎えた「学芸員とめぐる戦争のつめ痕」ツアー。今回は資料館を飛び出し、”覚王山界隈編”として、鍋屋上野浄水場（※外観のみの見学）や日清戦役第一軍戦死者記念碑、軍人像や関東大震災の碑などをめぐって歩きました。周辺に軍需工場が多くあった千種区には、空襲の際に被弾した建物や、多くの碑や軍人・兵士の墓がある平和公園など、戦争に関する史跡が残っています。街中にあって今も歴史を伝えるつめ痕を見て、過去の戦争や災害について考えるツアーとなりました。

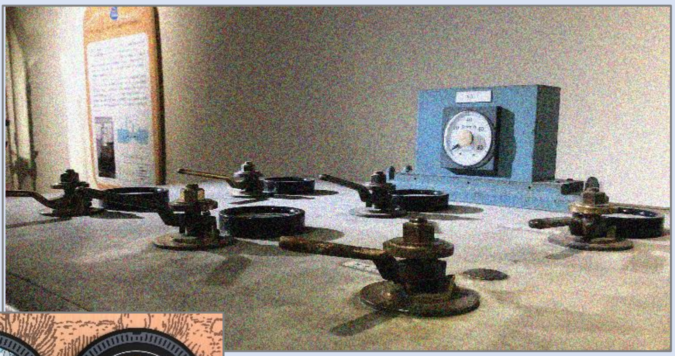
愛知・名古屋 戦争に関する資料館では、このようなイベント以外にも、年に３度の企画展示を行うなど、戦争に関する情報を発信しております。すでに資料館をご存じの方も、今回初めて知ってくださった方も、ぜひ資料館にお越しいただけることを、スタッフ一同、心よりお待ち申し上げております。

案内人はおなじみの
当館アドバイザー
伊藤厚史先生。

＜ツアーの様子＞



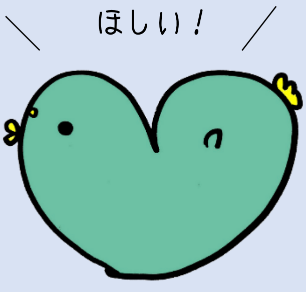
鍋屋上野浄水場
第１ポンプ所被弾痕



水の歴史資料館

珍しいレンガ製のマンホール

途中、立ち寄った水の歴史資料館では、
名古屋の水道・下水道について
学ぶことができ、
マンホールカードも
配布しています。



ハトリーヌちゃん

日清戦役第一軍戦死者記念碑

こんな大きなものが、
昔は名古屋の中心、今の
中区の広小路通と武平通
の交差点のあたりに
あったんぢゃ。

テラコッタハカセ

左：関東大震災横死者追悼之碑
右：濃尾震災横死者供養塔

当日はおりしも東日本大震災の発生した3月11日。平和公園周辺には、過去の大地震の追悼碑がひっそりと建っています。戦争に地震、そして感染症…先人の苦労や歴史から私たちは何を学べるでしょうか。

萬犬供養塔
（狂犬病の流行により撲(ぼく)殺された犬を弔う供養塔）

兄弟軍人像

今回のツアーの案内人・伊藤厚史先生が監修された「ガイドマップ　愛知・名古屋　戦争のつめあと散歩―名古屋城界隈エリア―」を資料館で配布しています。当館のホームページからもダウンロード出来ますのでぜひご利用ください。ダウンロードはこちらから